



市長 からの 手紙

63 小林斗盦先生

川崎市出身の文化勲章受章者・小林斗盦先生の「生誕百年記念 小林斗盦 篆刻の軌跡」(東京国立博物館で12月23日(祝)まで開催)に行ってきました。

先生は、川崎市の出身で、平成の初期ころまで一番街で印鑑店を営みながら、大変長い期間、篆刻の第一人者として活躍された方です。

川越中学(現在の県立川越高校)卒業ですから高校の大先輩でもあります。

印鑑店を営む家庭に生まれ家業を継いだ先生は、篆刻だけではなく書家としても名をはせ、漢籍や中国古印学、中国古代文字にも精通され、文部大臣賞や日本芸術院賞など名だたる賞を次々と受賞されています。平成16年には、篆刻家として初めて文化勲章を受章されました。

正直な話、私自身は市長になるまでこのように素晴らしい業績をあげられた方が川崎市出身であることを知りませんでした。平成10年ころからは都内に住居も工房も移されたようですが、生まれたときから川越に住み、川越で仕事をされていた方が文化勲章を受章した事実も知らなかった不明を恥じました。

東京国立博物館で開催している同展覧会では、安倍晋太郎や江沢民、司馬遼太郎など各界で活躍された方の印鑑を彫ったということを知りました。実に多くの著名人の印を彫られています。残念ながら篆刻の中身(文字の形や意味)は素人にはよく分かりませんが、日本だけでなく世界で活躍し、国際的に知られた方であることが分かりました。

また、今回の展覧会に足を運んでみて、実に多くの作品が、国に寄贈されているということを知りました。一つの印鑑から印影は多数作れるのであろうと素人考えでいましたが、展覧会に行って初めて、芸術作品とは、そういうものではないということも分かりました。

この機会に、先生の素晴らしい作品を多くの市民の皆様に見ていただきたいと思います。

川崎市長 川合善明

環境にやさしい行動を目指して 21

きれいな空気を守りましょ

環境対策課 224・5894

「大気汚染」、よく耳にする言葉ですが、その原因を皆さんはご存じですか。大気汚染は、火山などの自然災害で発生することもあります。主な原因は自動車や工場の煙に含まれる汚染物質などです。最近よく聞く微小粒子状物質(PM_{2.5})も大気汚染の一つです。

PM_{2.5}とは、大気中の浮遊粒子状物質の中で直径が2.5μm以下の小さな粒子のことを言います。とても小さいため、吸い込むと肺の奥深くまで入り込みやすく、喘息や気管支炎の原因となったり、肺がんにかかるリスクが上昇したりすることが心配されます。

市では、PM_{2.5}の汚染状況を監視するため、市内4か所に自動測定機を設置し、24時間監視を行っています。測定値が国の定めた規定を超えると判断された場合は、注意喚起情報を発令します。

また、発生源対策として、PM_{2.5}の排出源となる工場等に対し、定期的に立入検査を行い、適正に排出するよう指導しています。

きれいな空気を守っていくためには、自動車の不要なアイドリングを行わない、普段の生活から節電を心掛けるなど、一人ひとりが環境のことを考え、環境にやさしい行動をとることが必要不可欠です。きれいな空気の中で生活できるように、皆様のご協力をお願いします。

